

令和5年度 小規模保育園「キッズハウスひかり」自己評価結果

○この自己点検評価は、保育所保育指針をもとに、保育の質向上を目指す上で必要だと考えられる22項目を定め、保育士個人による評価をもとに、園内で話し合いを行い評価したものです。評価の結果を踏まえ今後の保育内容の充実につなげていきたいと思っております。

第1章 総則 教育・保育の基本

※評価については 良いA 普通B 努力が必要C

						評価	改善点
1	乳幼児期の教育及び保育は人格形成の基礎と生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われること、そして子どもの最善の利益を考慮してすすめることを理解していますか。					A	継続

教育及び保育の配慮

2	あなたは、一日の生活の連続性やリズムの多様性に配慮して保育を展開していますか。					A	継続
3	子ども一人一人に、わかりやすい温かく優しい言葉で、おだやかに話しかけていますか。					A	継続

指導計画作成と評価

4	入園までの生育歴や日々の保育記録を子ども一人一人の発達理解に生かし、養護面の配慮が個別的に指導計画されていますか。					B	「保育指針」の学びを深める
5	あなたの保育について反省・評価し、それを次の指導計画の作成に生かしていますか。					B	「主体的保育」について学ぶ機会をつくる

子どもの発達

6	子どもの発達(環境)は豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解し、子どもが興味や関心を持ったものに対して自分から関わろうとしている姿を認めたり励ましたりしていますか。					B	子どもに寄り添う環境設定の工夫が必要
---	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	---	--------------------

第2章 「ねらい」及び「内容」 乳児保育に関わるねらい及び内容

7	温かい触れ合いの中で、心と体の発達を促すように努めていますか。					A	継続
---	---------------------------------	--	--	--	--	---	----

1 歳児以上 3 歳児未満児の保育に関するねらい及び内容

8	安定感をもって生活できるように受容し、また子どもの気持ちを尊重し、温かく見守り、愛情豊かに、応答的に関わっていますか。	A	継続
9	体を動かす機会を十分に確保し、子どもが自分から動かそうとする意欲が育つようにしていますか。	A	継続
10	食事、排泄、睡眠、衣服の着脱、身の回りの清潔などは子ども一人一人の状態に応じ、落ち着いた雰囲気の中で子どもが自分でしようとする気持ちを尊重して対応していますか。	A	継続
11	感覚の発達が促されるように、音質、形、色、大きさなど子どもの発達状態に応じて玩具、絵本、遊具などを選び、それを使った遊びを楽しめるような環境を用意していますか。	B	子どもの発達にあった手作り玩具作りや保育者のわらべ歌や手遊びのスキルアップ、子ども自身が自分の体のバランスを養えるような環境づくりなどの実施
12	身近に経験したことや生活の中で興味のあること(歌や手遊び、体操など)を、自分なりにイメージを広げて表現できるようにしていますか。	B	同上

配慮事項

13	子どもの活動、発達は心身共に個人差が大きく発達過程をふまえた上で保育を展開し、気持ちや行動を受け止めるなど配慮をしていますか。	A	子どもの発達過程を踏まえた保育が展開できるよう、一人一人の子どもの心の動きや物事に対する意欲など、内面の育ちに対する理解を深め、配慮する。
----	-----------------------------------------------------------------	---	-----------------------------------------------------------------------

第3章 健康及び安全

健康支援

14	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育に活かしていますか。	A	継続
----	--------------------------------------	---	----

食育

15	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように配慮していますか。	A	継続
----	----------------------------------	---	----

環境

16	室内の温度や湿度、頭髪、爪などの清潔に心がけていますか。	A	継続
----	------------------------------	---	----

災害への備え

17	避難経路を振り返り、うまくいった点や反省点を記録に残していますか。	A	継続
----	-----------------------------------	---	----

第4章 子育て支援

保護者に対する子育て支援

18	保護者からの相談内容などを、あなた一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか。	C	相談を受けた保育士で対応できない時は、報告、相談し、全職員で共有し対応していく
----	------------------------------------------------	---	-----------------------------------------

第5章 職員の資質向上

職員の資質向上

19	研修に参加したり専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識を習得したり技能の向上に努めていますか。	C	振り返りの仕方について学ぶ
20	自己評価など、自分の保育を定期的に振り返る機会をもっていますか。	C	「自己評価チェックリスト」の活用
21	あなたは、不適切な保育及び未然防止及び発生時の対応についての手引き(キャンサースキャン株)などで自分の保育を振り返っていますか。	A	
22	あなたは、人権擁護のセルフチェックリストを使用し、定期的に自分の保育を振り返り、子どもを尊重する保育に努めていますか。	C	「人権擁護のセルフチェックリスト」の活用

●保育士個々の自己評価を行った結果、園としての課題は何か。

正規職員とパート職員の連携・保育内容の共有(行事イメージ、食事など基本的な生活習慣に関する援助、災害時の対応)子どもたちが自主的に遊ぶ姿を引き出す環境設定(安全に体を動かす場の確保)

●課題達成のために今後園として取り組まなければならない課題

定期的に保育内容を見直す機会をもつための時間の確保

●来年度に向けた目標について

子どもが安心して笑顔で過ごせるように子どもに寄り添う環境設定(①子どもの発達にあった手作り玩具やバランス力を養う粗大遊びの環境設定、保育士のわらべ歌や手遊びの提供②主体的保育や自己の振り返りの仕方について保育指針で学ぶ③園での食育活動について保護者に発信することで「食べることは生きること」の意義を伝える)をしていくことで子どもを温かい目で見守り受け止めていく